

令和4年11月15日発行 有脇ふれあいセンター実行委員会

## 公民館文化祭で車椅子・電動カート試乗会実施！

### 中学生ボランティア「高齢者と話して良かった」

11月3日、有脇公民館、文化・作品展に「ふれあいセンター主催」の「車椅子、電動カート試乗体験会」コーナーを設けました。目的は、移動困難の高齢者が増える中、若者や中高年者にも高齢者の移動問題を知ってもらい、車いす介助の体験を通して高齢者・障がい者にも優しい町づくりを考えてもらう。



#### 亀崎中学校より6名が参加

学年別では1年生4名、3年生2名の生徒がボランティアとして参加してくれました。授業で車椅子体験をしたことがあるが屋外での体験は初めてということでした。

有脇居宅介護支援事業所の石澤さん、社会福祉協議会の松本さんより車いす介助について基本的な説明を受けた後、試乗体験者に乗ってもらいふれあい実行委員が一名見守りながら中学生が押し、公民館前の道路から小学校正門を経て校庭までの坂道を登

って帰るというコースでした。

上り坂は思ったより力が必要、下り坂ではスピードを抑えるためブレーキで調節するなど、健常者には何気ない道でも、車椅子移動は大変だという事が分かりました。乗せてもらった人も、押した中学生も「歩道と車道の段差の乗り越えが大変だった」、「舗装道路もデコボコがありガタツキのショックが気になった。」「学校正門の門柱レールがわずかに高くなっており乗り越えるのが大変だ」…などの声が聞かれました。

電動カート体験では、「車の運転ができなくなったらこういうのが必要だよ」と、操作を教えてもらいながら駐車場の中を移動しました。

#### 「高齢者と身近に接することができてよかった」・・・反省会の意見

中学生達からは「高齢者とふれあえてうれしかった。」「家族が骨折し車椅子の生活をしたので何か手伝えないかと参加した。」「家族が介護施設で働いており福祉の仕事に興味がある。」など感想やボランティアに参加したきっかけなど聞きました。将来福祉の仕事をしたいという中学生も数名いて、私たち実行委員から孫に見える中学生たちの力強いしっかりした発言に励まされました。

#### 当日の利用者・受入れ体制のまとめ

車いす体験者数	2台 10時～11時45分	18名
電動カート体験者数	3台 10時～11時40分	13名
車いす、電動カート	実行委員参加者数	6名
協力事業者	有脇居宅介護支援事業所 ・ 社会福祉協議会 ・ 福祉事業部ダイイチ	各1名

### ふれあいセンター大掃除ボランティアを募集します！

日時 12月3日(土) 午後1時半より3時半・・・(コーヒーサロン午後休業)

場所 ふれあいセンター室内、屋外。花壇周辺

清掃場所・・・(窓ふき、トイレ、エアコン、絨毯、冷蔵庫内、雨どい、花壇整理)